

AQUAPOLIS

No.12
International
Conference of
Aquapolises
Publisher: Yutaka TERAO



第6回国際水都会議の開催都市を募集します。

■第6回国際水都会議開催都市の募集

国際水都会議(以下、ICAP [International Conference of Aquapolises])というは、平成2年に、大阪市制100周年を記念して、大阪市が提唱し開催した会議で、「水・緑」に関して特長をもつ世界各国の水都と呼ばれる都市が一堂に会して、水を生かしたまちづくりのノウハウ等の情報交換を行い、21世紀の水都のあり方などを議論していく国際会議です。

ICAPはこれまで3～5年ごとに開催してきており、近年では第5回ICAPが平成20年5月に韓国の釜山広域市において開催されました。第5回ICAPでは、世界15ヶ国41都市の水都から市長や専門家などが釜山広域市に集まり、「持続可能な水都に向けて」をメインテーマとして、水と緑を活用したまちづくりのノウハウ等の情報交換を行い、今後の水都のあり方などを議論しました。

現在ICAP事務局ではICAPの継続開催に向けて第6回ICAPの開催都市を募集しており、貴市におかれましてもぜひとも第6回ICAP開催についてご検討いただきますようよろしくお願いたします。つきましては、別紙の第6回ICAP開催都市返信フォームに必要事項をご記入の上、ICAP事務局までご返信のほどよろしくお願いたします。



第2回上海会議



第4回大阪会議



第5回釜山会議

■過去のICAP開催経過

	開催都市	開催時期	会議参加都市
第1回会議	大阪市(日本)	1990年7月	33都市(210名)
第2回会議	上海市(中国)	1993年11月	28都市(110名)
第3回会議	ピレウス市(ギリシャ)	1997年3月	22都市(80名)
第4回会議	大阪市(日本)	2003年3月	55都市(900名)
第5回会議	釜山広域市(韓国)	2008年5月	41都市(150名)

■2010年上海万博への大阪出展

■上海万博の概要

- テーマ： Better City, Better Life（より良い都市、より良い生活）
 会期： 2010年5月1日（土）～10月31日（日）（184日間）
 場所： 上海市都心部、南浦大橋から盧浦大橋までの黄浦江兩岸
 参加国： 約240ヶ国・国際機関等
 入場者数： 約7,000万人（1日あたり平均40万人）
 ※1970年に開催された大阪万博の6,400万人を上回る史上最高を見込む

■大阪出展について

1400年の持続都市である大阪には、「水の利」を活かし水運を発展させ、日本最大の交易・商業都市として栄えてきた歴史があります。大阪は、「水害」や、近代のわが国経済成長期には大気汚染等の様々な公害問題を克服し、安全で快適な暮らしを提供するため、環境技術の開発、環境共生型のまちづくりを進め、「環境先進都市・水都大阪」を実現してきました。その経験と、官民の技術を中国・上海の人々と世界の人々にアピールし、世界の都市環境改善に貢献するとともに、大阪の人・まち・産業などの都市魅力を発信することを目的に、大阪が日本の都市として唯一ベストシティ実践区に出展します。

■ベストシティ実践区の概要

- 史上初！「都市」が出展するベストシティ実践区
- ・世界の代表的な都市が万博に参加して先進的事例を展示するエリア
 - ・大阪は南エリアの共同館（B4-1号館）に、パリ、ジュネーブ、ビルバオ、マルメ、プラハなどの都市とともに出展



■大阪館の概要

テーマ：環境先進都市・水都大阪の挑戦

館内の主なみどころ

・大阪館の正面（ファサード）

幅約30mの巨大壁画。大阪の歳時記や風景を精緻かつポップに表現。



• 大阪の春～桜の通り抜け～

桜並木に覆われた大阪の春の美を映像で紹介。

大阪の春の名所、造幣局の「桜の通り抜け」のイメージを浸水対策施設「なにわ大放水路」を模したトンネルの壁面に。



• 水の回廊

水都大阪のイメージを空間全体で表現。エリア全体を水面としその上に回廊を設置。

噴水による涼やかな世界を演出。



• なにわの時空シアター

四方向全周映像で、水と共に発展してきた水都大阪を時空を超えて旅する感覚で紹介。



• 特別展示

16世紀ごろの大阪の水辺生活風景を描く、「豊臣期大坂図屏風」を最新印刷技術で再現。世界最大級の金貨「天正長大判」や大阪城天守閣の金鯰の複製展示も。

• 環境先進技術展示

持続可能な都市を実現するための、大阪・関西の環境先進技術を、「水」「エネルギー」の分野で紹介。最新の研究を楽しく理解できる体験型の展示など、先進技術をわかりやすく紹介する。

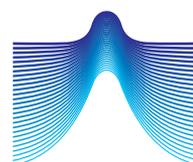


• 関西の都市魅力

京都などの古都、大阪、神戸など近代的な都市、美しい四季、歴史・文化、世界遺産など関西地域の持つ魅力を紹介。

■上海万博大阪出展公式サイト

<http://expo2010-osaka.jp/>



**OSAKA
PAVILION**
EXPO 2010 SHANGHAI CHINA

■「水都大阪2009」の開催報告

昨年、「川と生きる都市・大阪」をテーマに、中之島公園や八軒家浜、川でできた口の字型の「水の回廊」で開催した「水都大阪2009」。アートや市民参加を手法に、8月22日から10月12日まで、連日さまざまなプログラムを実施し、また、官民が実施する多くのイベントとも連携した結果、当初予想を超える約190万人の方にご来場いただき、水の都・大阪の復興のためのキックオフイベントとしての役割を十分担うことができました。



ナイトプログラム

【開催日】 平成21年8月22日(土)～10月12日(月・祝) 52日間
*ただし、10月7日(水)～9日(金)は台風18号の影響で中止

【キーワード】 「連携・継承・継続」

【基本コンセプト】 ○水都大阪の魅力を創出し、世界に発信
○市民が主役となる、元気で美しい大阪づくり
○開催効果が継続し、都市資産や仕組みが集積されていくまちづくり

【主なプログラム数等】 ・アート関係 (8/22～10/12)

延べ650プログラム 参加アーティスト 171組

・市民企画プログラム (9/19～9/23)

延べ87プログラム 参加団体 41組

・船着場プログラム (8/8～10/12)

18プログラム 参加団体 5組

・ナイトプログラム「水の回廊・時空の架け橋」

44日間 201回上演

・大阪ステキ発見 応募数 841点

43日間 八軒家浜会場「川の駅はちけんや」で展示

・OSAKA旅∞(めがね)

ツアー参加者 1,681人

地域協力者 約100人

エリアコーディネーター 20人

エリアクルー 58人



ラッキードラゴン

【来場者数】 延べ 約189万6千人



*連携事業 ラバー・ダック

■事務局からのお知らせ

ICAPの継続開催に向けた第6回ICAP開催都市の募集ならびに2010年上海万博への大阪出展、水都大阪2009の開催報告を各都市のみなさまへお知らせするために、アクアポリスNo.12を発行することとなりました。今後ともICAPへのご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ICAP事務局長：大阪市建設局河川担当部長 寺尾 豊

■ICAP事務局への連絡先

住所：〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-14-16 WTCビル12階 大阪市建設局下水道河川部河川担当
TEL：06-6615-6835 FAX：06-6615-6583 E-mail: la0028@city.osaka.lg.jp

AQUAPOLIS